

2013年3月期 決算説明資料

2013年5月8日

株式会社 IHI

2013年3月期 連結決算の概要

	2011年度	第3四半期公表時予想(前回見通し)		(億円)	
		2012年度	増減		
受注高	12,696	12,800	12,256	▲ 543	▲ 440
売上高	12,218	12,500	12,560	60	341
営業利益	433	350	421	71	▲ 11
経常利益	417	280	362	82	▲ 54
税引前当期純利益	543		572		29
当期純利益	238	230	333	103	95

特段の記載がない限り、各項目の数値は億円未満を切り捨てて表示している。

営業外損益及び特別損益

(億円)

	2011年度	2012年度	増減
金融収支	▲ 18	▲ 15	2
為替差損益	0	45	45
持分法による投資損益	6	43	37
その他	▲ 4	▲ 132	▲ 128
営業外損益	▲ 16	▲ 59	▲ 43
特別損益	126	210	84

‘12年度の特別損益(210億円)の内訳 :

固定資産売却益	141億円
持分変動利益	118億円
投資有価証券評価損	▲14億円
環境保全対策費用	▲12億円
減損損失	▲12億円
関係会社損失引当金繰入額	▲9億円

セグメント別 受注高

(億円)

	受 注 高		
	2011年度	2012年度	増 減
資源・エネルギー	3,128	2,901	▲ 227
船舶・海洋	767	1,161	394
社会基盤	1,995	970	▲ 1,025
物流・産業機械	1,655	1,778	122
回転・量産機械	1,615	1,657	42
航空・宇宙	3,311	3,448	137
その他	1,052	1,100	48
調整額	▲ 829	▲ 762	67
合 計	12,696	12,256	▲ 440

2012年度の船舶・海洋セグメントについては、第3四半期までの受注高を表示している。

セグメント別 売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	2011年度	2012年度	増減	2011年度	2012年度	増減
資源・エネルギー	3,123	3,172	48	109	98	▲ 11
船舶・海洋	1,762	1,173	▲ 588	79	65	▲ 13
社会基盤	1,147	1,014	▲ 132	82	58	▲ 24
物流・産業機械	1,529	1,916	387	56	99	42
回転・量産機械	1,658	1,698	39	104	52	▲ 51
航空・宇宙	2,994	3,384	390	60	154	93
その他	1,073	1,079	6	11	21	10
調整額	▲ 1,070	▲ 879	190	▲ 71	▲ 127	▲ 56
合計	12,218	12,560	341	433	421	▲ 11

2012年度の船舶・海洋セグメントについては、第3四半期までの売上高・営業利益を表示している。

営業利益の前期比増減要因

(億円)

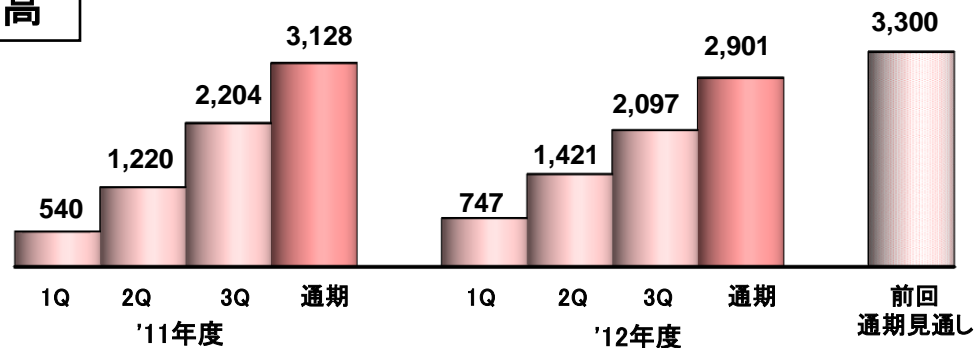
	売上総利益				販管費の変動	合計
	売上高の増減	工事採算の変動	資材費の変動	為替の変動		
資源・エネルギー	3	▲ 2		18	▲ 31	▲ 11
船舶・海洋	▲ 31	▲ 23	9		31	▲ 13
社会基盤	▲ 24	▲ 11	3		7	▲ 24
物流・産業機械	51	5			▲ 13	42
回転・量産機械	8	▲ 75		1	14	▲ 51
航空・宇宙	37	35	1	21		93
その他	1	22			▲ 13	10
調整額		▲ 42			▲ 14	▲ 56
合計	45	▲ 91	13	40	▲ 19	▲ 11

セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品:ボイラ, 原子力機器, 貯蔵設備, 化学プラント, 原動機プラント,
陸船用原動機, F-LNG

受注高

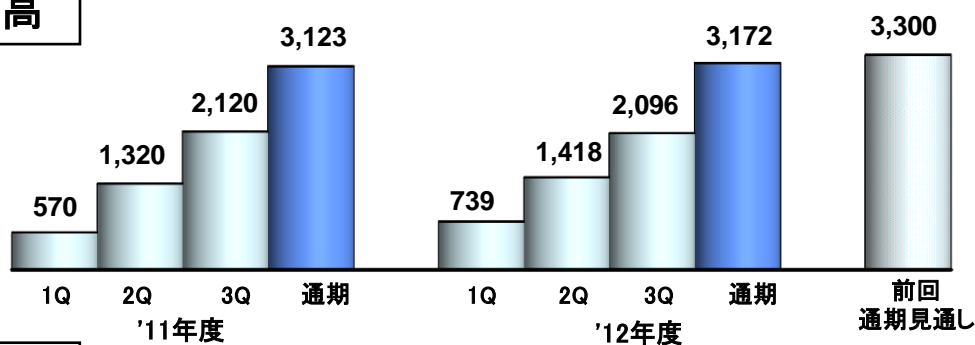


<対前期 増減内訳>

【受注高】

原動機プラントが増加したものの、原子力機器、ボイラが減少したため、前期比 ▲227億円(▲7.3%)となった。

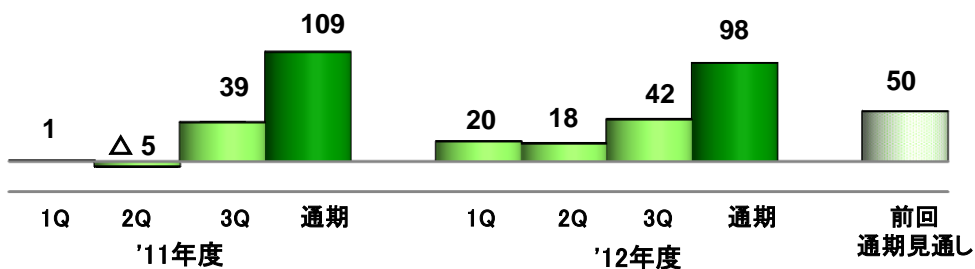
売上高



【売上高】

貯蔵設備、陸船用原動機で減収となったものの、化学プラントで増収となったため、前期比 +48億円(+1.6%)の増収となった。

営業利益



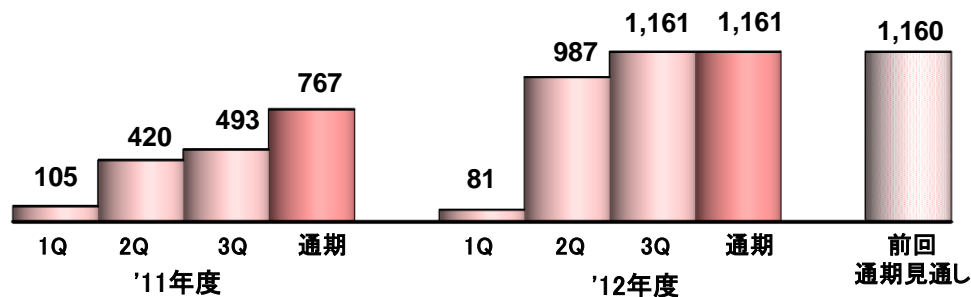
【営業利益】

為替円安による増益効果はあったものの、販管費の増加により、前期比 ▲11億円(▲10.5%)の減益となった。

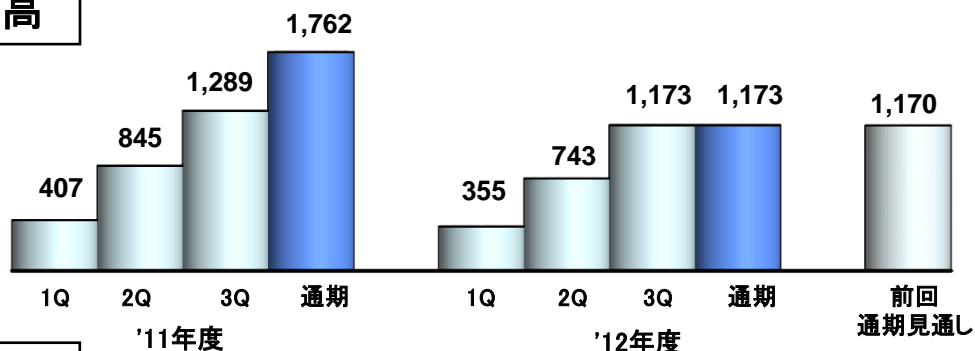
(億円/各期の金額は累計)

主要製品:新造船, 修理船, 海洋構造物

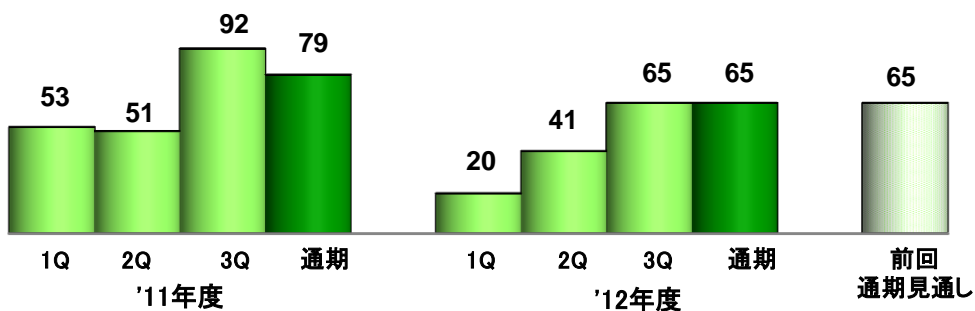
受注高



売上高



営業利益



2013年1月1日に当社の連結子会社であった(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドはユニバーサル造船(株)と合併した。

これにより、船舶・海洋セグメントを構成していた(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド及びその子会社3社が当社の連結子会社に該当しなくなり、統合新会社であるジャパン マリンユナイテッド(株)及びその子会社3社(JMUグループ)が、当社の持分法適用関連会社となった。

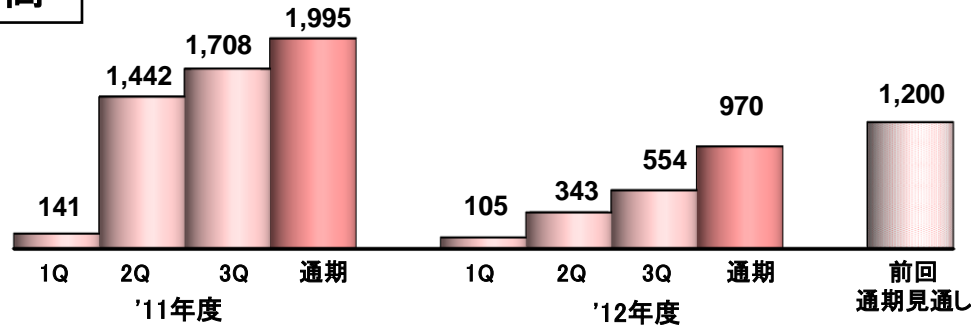
4Q以降の業績は持分法投資損益(営業外損益)に計上するため、船舶・海洋セグメントの通期業績は3Qと同一の表示となる。

(4Q JMUグループ持分法投資利益:36億円)

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 橋梁, 建材製品, 船用機械, シールド, 不動産販売・賃貸

受注高

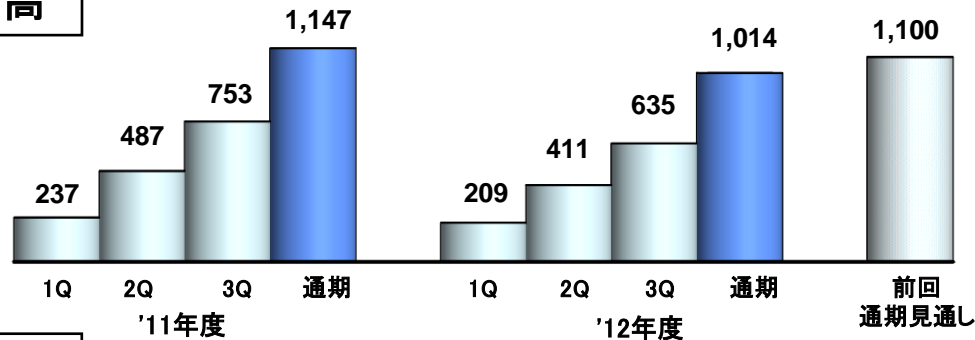


<対前期 増減内訳>

【受注高】

橋梁で前期に大型案件(イズミット湾横断橋: トルコ)を受注した影響により、前期比 ▲1,025億円(▲51.4%)となった。

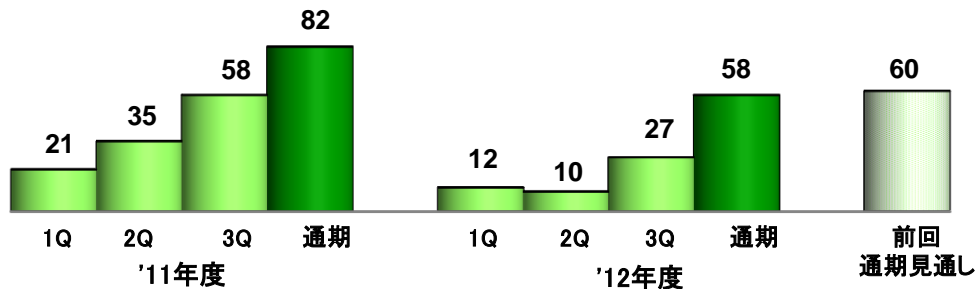
売上高



【売上高】

船用機械, シールドの減収により、前期比 ▲132億円(▲11.6%)の減収となった。

営業利益



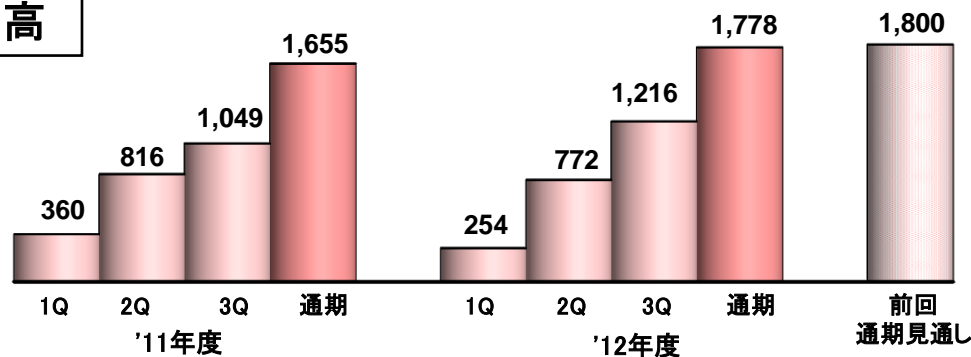
【営業利益】

船用機械, シールドの減収等により、前期比 ▲24億円(▲29.8%)の減益となった。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 運搬機械, 物流システム, 駐車装置, 交通システム, 製鉄機械,
製紙機械, 環境装置

受注高

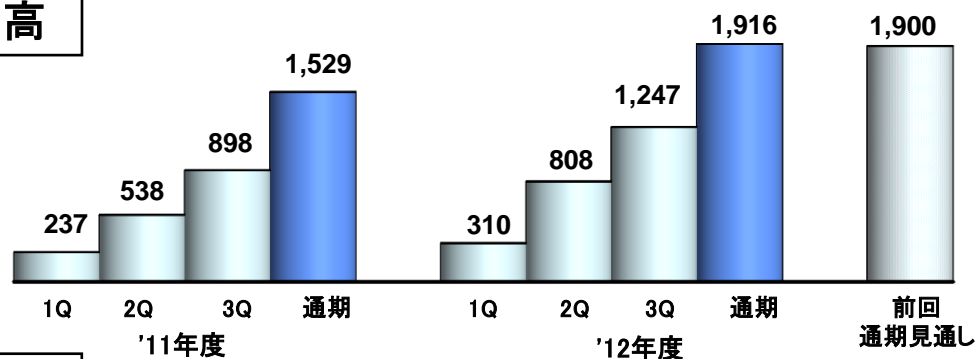


<対前期 増減内訳>

【受注高】

物流システムが減少したものの、駐車装置、運搬機械、製紙機械が増加したため、前期比 +122億円(+7.4%)となった。

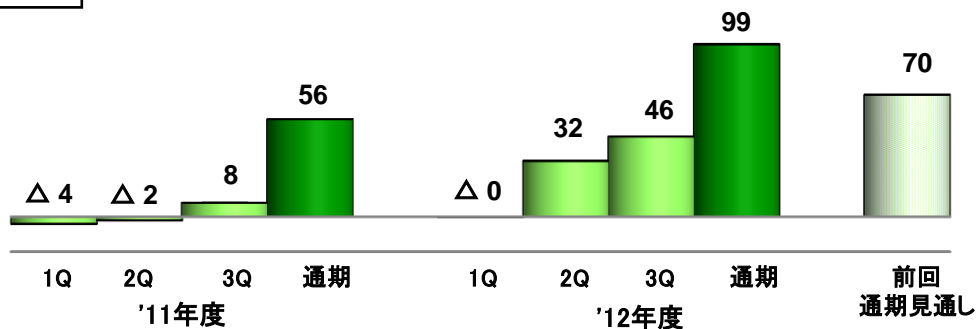
売上高



【売上高】

製鉄機械、運搬機械、駐車装置の増収により、前期比 +387億円(+25.3%)の増収となった。

営業利益



【営業利益】

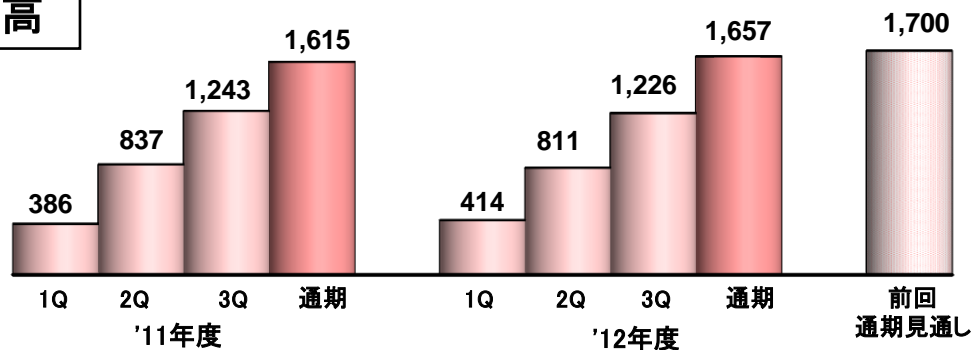
販管費の増加があったものの、製鉄機械、運搬機械、駐車装置の増収により、前期比 +42億円(+75.8%)の増益となった。

回転・量産機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 圧縮機, 分離装置, 車両用過給機

受注高

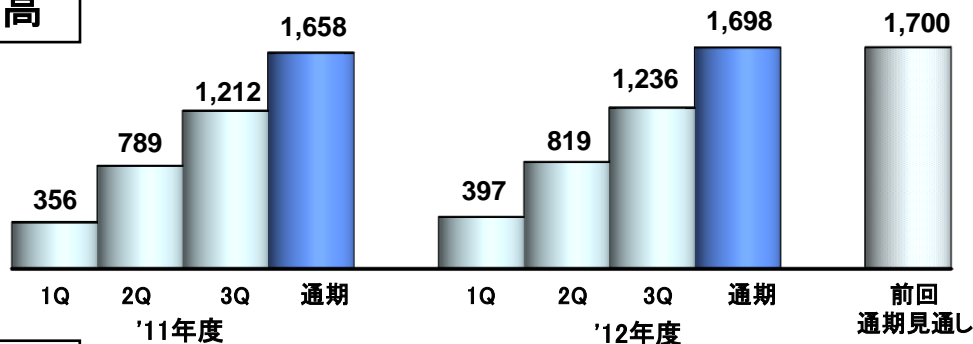


<対前期 増減内訳>

【受注高】

圧縮機が減少したものの、車両過給機が増加したため、前期比 +42億円(+2.6%)となった。

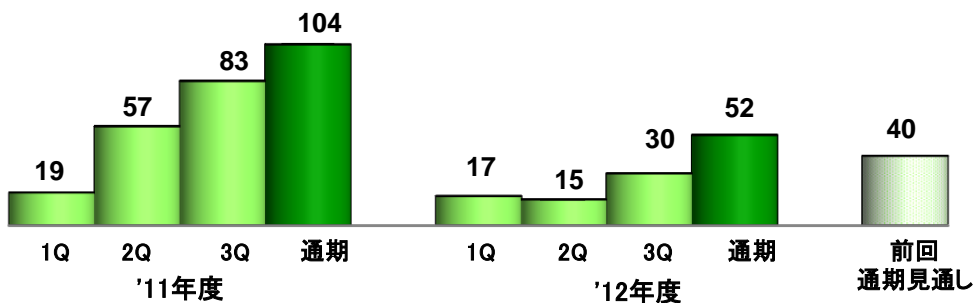
売上高



【売上高】

圧縮機, 分離装置が減収となったものの、車両過給機が増収となったことにより、前期比 +39億円(+2.4%)の増収となった。

営業利益



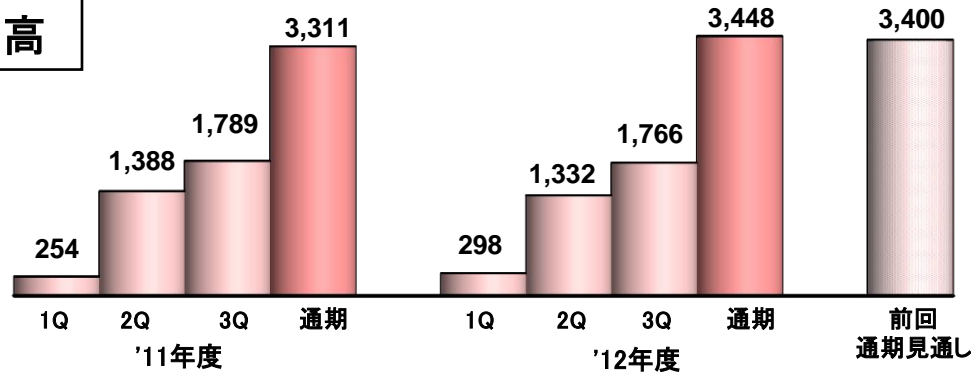
【営業利益】

圧縮機, 分離装置の減収や車両過給機の増産対応費, 不具合対応費の発生等により、前期比 ▲51億円(▲49.7%)の減益となった。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 防衛機器システム

受注高

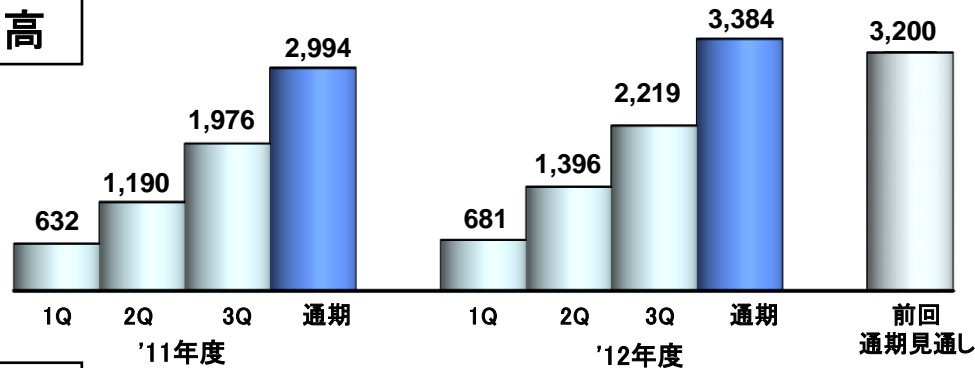


<対前期 増減内訳>

【受注高】

宇宙開発関連機器, 民間向け航空エンジンの増加により, 前期比 +137億円(+4.1%) となった。

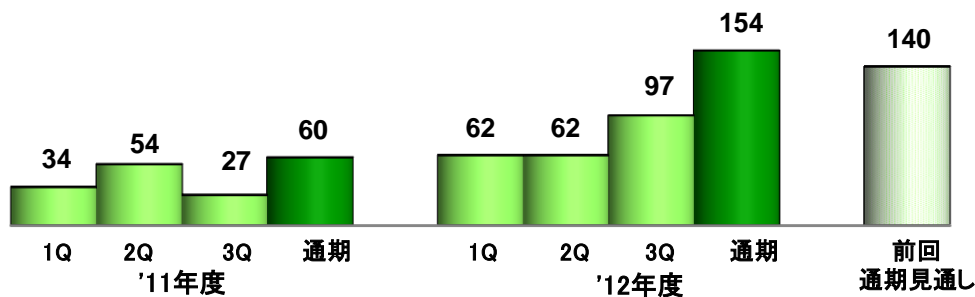
売上高



【売上高】

民間向け航空エンジン, 防衛機器システムの増収により, 前期比 +390億円(+13.0%) の増収 となった。

営業利益



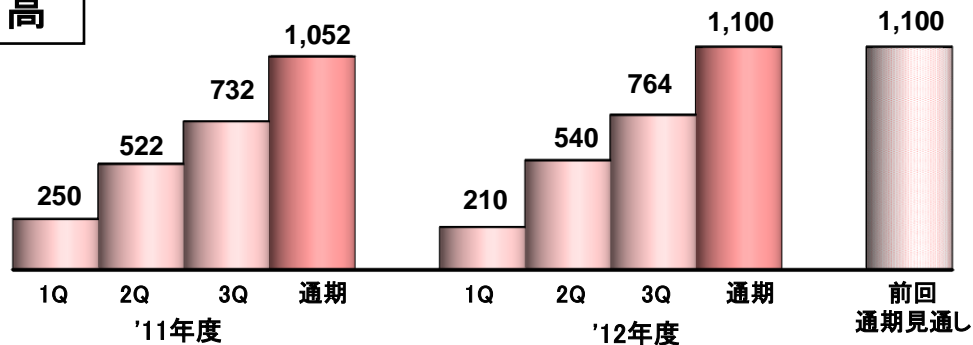
【営業利益】

為替円安による増益効果や, 民間向け航空エンジンの増収, 採算性向上により, 前期比 +93億円(+154.6%) の増益 となった。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品:ディーゼルエンジン, 農業機械, 建設機械, その他サービス業

受注高

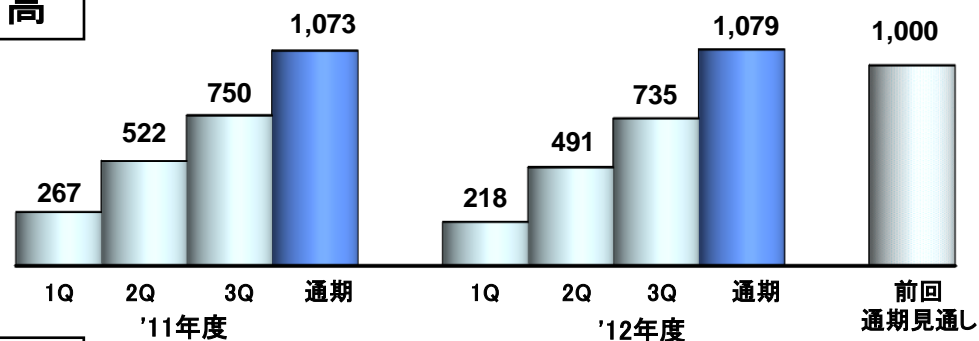


<対前期 増減内訳>

【受注高】

農業機械が減少したものの、明星電気(株)を新たに連結したことにより、前期比 +48億円(+4.6%)となった。

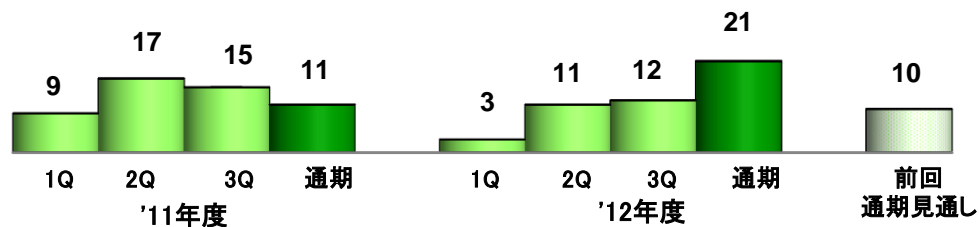
売上高



【売上高】

ディーゼルエンジン, 農業機械が減収となったものの、明星電気(株)の増収効果等により、前期比 +6億円(+0.6%)の増収となった。

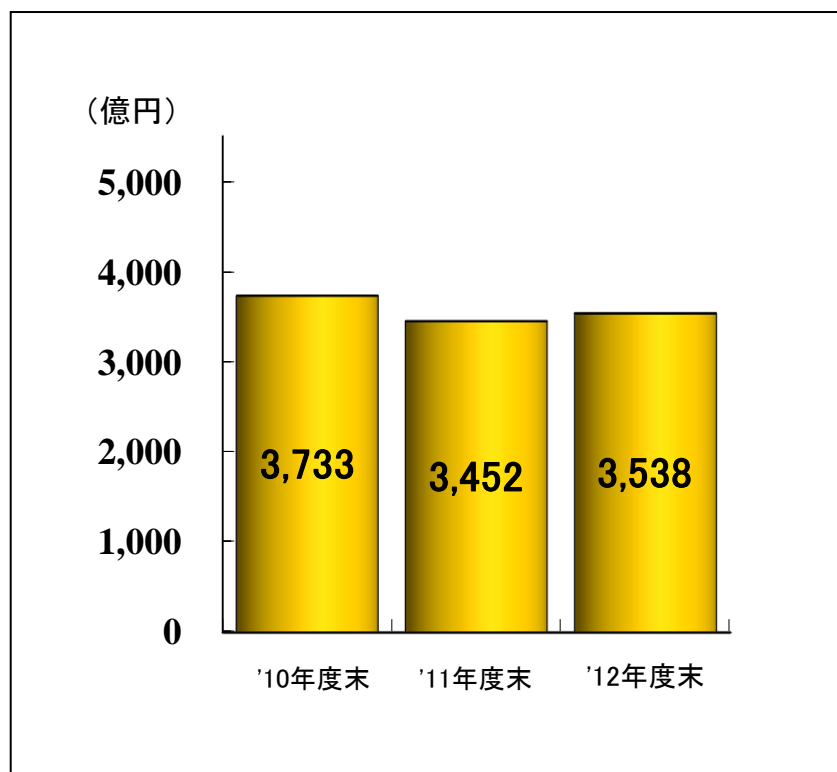
営業利益



【営業利益】

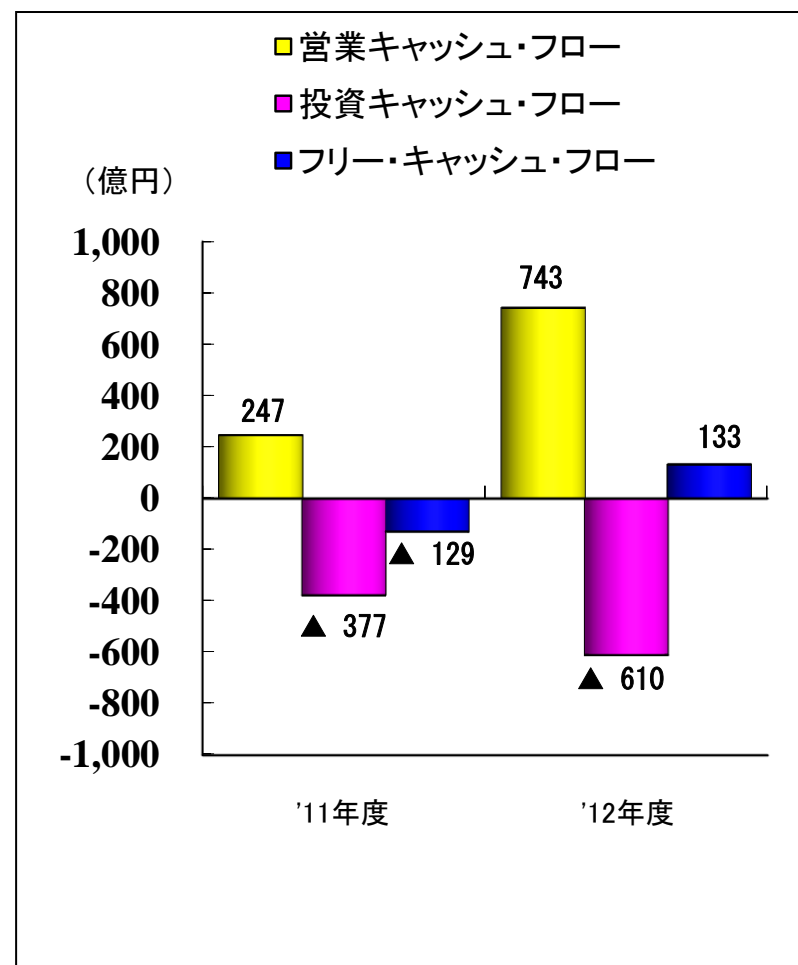
建設機械の採算性向上や明星電気(株)の増収効果等により、前期比 +10億(+88.1%)の増益となった。

連結有利子負債



有利子負債残高には, リース債務残高('10年度末: 127億円, '11年度末: 156億円, '12年度末: 181億円)を含む。

連結キャッシュ・フロー



研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)

	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 見通し
研究開発費	300	302	370
設備投資額	535	550	670
減価償却費	411	417	420

組織変更による報告セグメント区分の変更

現行セグメントの各主要製品について、変更後の新セグメントでは以下の通り区分する。

現行	変更後	資源・エネルギー・ 環境	社会基盤・ 海洋	産業システム・ 汎用機械	航空・宇宙・ 防衛
資源・エネルギー	ボイラ, 原子力機器, 貯蔵設備, 化学プラント, 原動機プラント, 陸船用原動機	●			
	F-LNG		●		
船舶・海洋 (※1)	【JMUグループ】				
社会基盤	橋梁, 建材製品, シールド, 不動産販売・賃貸		●		
	船用機械			●	
物流・産業機械	環境装置	●			
	交通システム		●		
	運搬機械, 物流システム, 駐車装置, 製鉄機械, 製紙機械			●	
回転・量産機械	圧縮機, 分離装置, 車両用過給機			●	
航空・宇宙	航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 防衛機器システム				●
その他 (※2)	ディーゼルエンジン	●			
	農業機械, 建設機械			●	
	その他サービス業など				

(※1) JMUグループの業績は持分法投資損益(営業外損益)として開示するため、セグメント別受注高・売上高・営業損益には含まれない。

(※2) ディーゼルエンジン、農業機械、建設機械以外のその他サービス業などは、変更後において報告セグメント以外の“その他”に区分する。

2014年3月期 通期連結業績見通し

前提為替レート

米ドル
ユーロ

95円
120円

(億円)

	2012年度 実績	2013年度 見通し	増 減
受 注 高	12,256	14,000	1,743
売 上 高	12,560	13,100	539
営 業 利 益	421	480	58
経 常 利 益	362	370	7
当 期 純 利 益	333	180	▲ 153

セグメント別 連結業績見通し(受注高)

(億円)

	受注高		
	2012年度実績	2013年度見通し	対実績 増減
資源・エネルギー・ 環境	3,003	4,700	1,696
社会基盤・海洋	1,126	1,600	473
産業システム・ 汎用機械	3,581	4,000	418
航空・宇宙・防衛	3,448	3,700	251
報告セグメント計	11,159	14,000	2,840
その他	624	600	▲ 24
(船舶・海洋)	1,161	-	▲ 1,161
調整額	▲ 689	▲ 600	89
合計	12,256	14,000	1,743

2012年度実績は、2013年度より適用するセグメント区分により算定した参考値を表示している。

セグメント別 連結業績見通し(売上高・営業利益)

(億円)

	2012年度実績		2013年度見通し		対実績 増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
資源・エネルギー・環境	3,215	162	3,500	140	284	▲ 22
社会基盤・海洋	1,178	15	1,700	70	521	54
産業システム・汎用機械	3,825	136	4,000	140	174	3
航空・宇宙・防衛	3,384	154	3,800	200	415	45
報告セグメント計	11,604	468	13,000	550	1,395	81
その他	608	15	600	10	▲ 8	▲ 5
(船舶・海洋)	1,173	65	-	-	▲ 1,173	▲ 65
調整額	▲ 825	▲ 127	▲ 500	▲ 80	325	47
合計	12,560	421	13,100	480	539	58

2012年度実績は、2013年度より適用するセグメント区分により算定した参考値を表示している。

2014年3月期見通し営業利益の前期比増減要因

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー・環境	10	▲ 32	30	▲ 30	▲ 22
社会基盤・海洋	20	5	30	0	54
産業システム・汎用機械	10	14	10	▲ 30	3
航空・宇宙・防衛	10	6	50	▲ 20	45
報告セグメント計	50	▲ 7	120	▲ 80	81
その他	0	0	0	▲ 5	▲ 5
(船舶・海洋)	▲ 65	0	0	0	▲ 65
調整額	0	36	0	10	47
合 計	▲ 15	29	120	▲ 75	58

セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

IHI

Realize your dreams

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。